

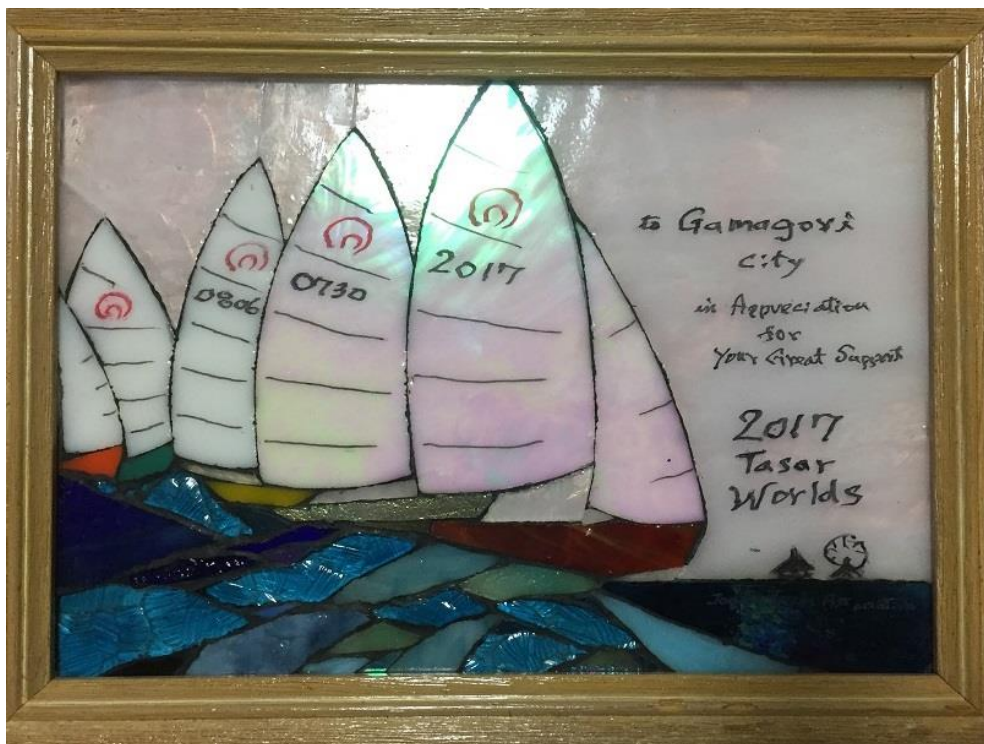


tasar

Japan Tasar Association
<http://www.tasarjapan.org/>

105

Tasar News Letter
Vol.105
Apr. 2018



上) 「蒲郡ワールド」開催記念として蒲郡市に贈呈 / 下) 2018年春、江の島にてミッドウィンター開催

CONTENTS

自然体：会長 田中郁也	1
協会からのお知らせ	
①2017 年度行事総括と 2018 年度予定	2
②日本テザー協会年次総会のご報告	3
③コンバスルール変更投票の結果	3
④（ご報告）蒲郡ワールド開催の報告を行いました	4
⑤Tasar Sailor of the Year (TOY) 2017	5
⑥テザー世界選手権大会 2019 のご案内.....	5
アーリーサマーレガッタ@新潟 会場周辺の情報	5
レースレポート	7
フリート便り	14
【巻末および別添】TOY2017、年次総会議事録、総会資料、レース公示（スプリングレガッタ）	

自然体

会長 田中 郁也

テザー協会の会長を務めさせていただくようになり4年が過ぎました。この間、蒲郡ワールドの準備のほか、毎年の一連のレガッタの開催、練習会や講習会でのレベルアップ活動、HP やニュースレターでのコミュニケーション活動などを行ってきました。これらの取組は、協会理事やサポートスタッフの皆さん、ワールド準備委員会のメンバー、レース等の開催にあたっては、フリートキャプテンをはじめとするホストフリート、地元メンバーの皆さんのご尽力によるものです。ここに改めて、各位のご尽力に御礼申し上げます。

この4年間を振り返り、テザー愛好者の皆さんが集うレースなどの機会を作ること、ウェブサイトやニュースレターなどを通じてのコミュニケーションを持つことが改めて大事だなと感じています。一方で、これらの活動は、テザー愛好者のボランティア精神の上に成り立っています。仕事や家庭などの都合がある中で、セーリングに充てる時間を一部割いて、対応してもらっています。また、長く理事などを続けておられる方の中には、疲れを感じている方もいらっしゃるのでは、と思います。

これからの2年間、テザークラスと協会の現状を良く見て、テザーが今の勢いをもって、末永く活動を行っていけるよう、協会の役割を考え、体制づくりなどに取り組んでいきたいと考えています。みなさまからもご意見やお知恵をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、ここからは近況報告です。昨年、稲毛全日本以降は、ワールド開催でお世話になった機関への報告とお礼、助成金の会計報告などの作業を静かに進めていました。仕事と睡眠以外の時間の大半を大会準備に充てていた頃と比べ、ずいぶん時間の余裕ができ、たまに旅行などを楽しんでいます。

これからのテザーとの関わりを考えたりもしました。クルーとは、身軽になって、暖かくなったら、テザーにゆっくり乗りたいね、と話しています。週末、ハーバーに行って艦装して、セーリングし、あるいは整備をする。そして、家に帰って、おいしくご飯をいただく。以前は当たり前だったことですが、今シーズン、そんなゆったりとした時間の中で、自然体でテザーを楽しもうと思います。

幸い、小樽で艇を置くことができる場所が見つかりましたので、この春からしばらくの間、コンブが茂る日本海でテザー・セーリングを楽しみたいと思います。

今シーズンもテザーを楽しみましょう。

2017 年度総括と 2018 年度行事予定

2017 年はワールドイヤーでした。夏の蒲郡ワールドへ向けて、3 月のミッドウインター(25 艇江の島)、4 月のスプリング(35 艇葉山)、5 月のアーリーサマー(25 艇江の島)、7 月の西日本選手権(22 艇芦屋)と多くの艇が集まり、国内レガッタを盛り上げて頂きました。ワールド後には 10 月に稲毛にて全日本を実施。あいにく台風接近により 2 日目はキャンセルとなってしまいましたが、初日はシフティな風の中、全日本に相応しいコンペティティブなレースが行われました。ワールドという一大イベントの準備に携わりながら、JTA 主催の公式戦の準備運営にご協力頂きました各フリートキャプテンおよびフリートメンバーのみなさま、またご参加頂いた選手のみなさまには、この場を借りてお礼申し上げます。

2018 年は毎年定番の葉山のスプリング、芦屋の西日本以外に、新潟、猪苗代湖、浜名湖でレースを開催します。ワールドとはまた違う、"気軽に遠征できる"テザーの魅力を感じられるかと思います。特に 6 月の新潟は初めての公式レース開催。日本海側での開催は 2013 年の秋田男鹿での全日本以来。近くにキャンプサイトもあるようですので、ご家族ご友人とテント持参でいかがでしょうか。

全日本は葉山です。前哨戦のスプリングは同じく葉山で 4 月 21,22 日に開催します。みなさまのご参加をお待ちしております。(イベント担当理事:米本 隆)

協会公式イベント

2017 年度は、下記の公式イベントを実施しました。

JTA 公式レース

- ・ スプリングレガッタ (葉山 / 2017 年 4 月 29-30 日 / 参加 35 艇) 優勝 高橋 / 杉浦組
- ・ アーリーミッドサマー (江の島 / 2017 年 5 月 28 日 / 参加 25 艇) 優勝 佐藤 / 村岸組
- ・ 西日本選手権 (芦屋 / 2017 年 7 月 9 日 / 参加 22 艇) 優勝 伊藤 / 本吉組
- ・ 2017 年テザー級世界選手権大会 : Tasar World Championship 2017
(蒲郡 / 2017 年 7 月 30 日-8 月 6 日 / 参加 97 艇)
優勝 ジョナサン&リビー・ジョンソン・マッキー組
- ・ ミッドサマーレガッタ (猪苗代湖 / 2017 年 8 月 26-27 日 / 参加 5 艇) 優勝 米本 / 野嶋組
- ・ 第 32 回テザー級全日本選手権大会 (稲毛 / 2017 年 10 月 21 日-22 日 / 参加 27 艇)
優勝 山村 / 吉田組
- ・ ミッドウインターレガッタ (江の島 / 2018 年 3 月 10 日 / 参加 17 艇) 優勝 阪間 / 阪間組

JTA 練習会

- ・ 第 1 回練習会 (江の島 / 2017 年 5 月 27 日)
- ・ 第 2 回練習会 (芦屋 / 2017 年 7 月 8 日)
- ・ 第 3 回練習会 (蒲郡 / 2017 年 7 月 15-16 日)
- ・ 第 4 回練習会 (蒲郡 / 2017 年 7 月 22-23 日)
- ・ 第 5 回練習会 (蒲郡 / 2017 年 7 月 29-30 日)
- ・ 第 6 回練習会 (江の島 / 2018 年 3 月 10 日)

2018 年度スケジュール（一部は調整中です）

日 程	イベント名	場 所	備 考
4/21(土)~4/22(日)	スプリングレガッタ	葉山	
6/10(日)	アーリーミッドサマー	新潟	
7/8(日)	西日本選手権	芦屋	
8/25(土)~26(日)	ミッドサマーレガッタ	猪苗代湖	
9/15(土)~16(日)	オータムレガッタ	浜名湖	
10/20(土)~21(日)	全日本選手権	葉山	
未定	ミッドウィンターレガッタ	調整中	

2017 年度日本テザー協会年次総会のご報告

10月21日、全日本選手権初日レース終了後、千葉市磯部公民館にて、2017年度の年次総会が行われました。今年度の活動報告、蒲郡ワールド開催実施報告、2018年度の活動予定、そして会計報告（2016年度決算報告/本年度中間報告/ワールド会計報告）などについて、それぞれ担当理事から報告があり、質疑応答、意見交換が行われました。続いて、2018年度の予算案についての審議が行われ、質疑応答のうえ承認されました。また、2年の任期が終了するため、会長の選出も行われ、田中郁也さんが引き続き、次期会長に選出されました。

議事録、および配布された総会資料（2017年テザー級世界選手権大会（概要報告））を巻末に添付します。なお、会計報告については、会員以外への公開となることから、ニュースレター上への掲載は割愛しておりますので、ご了承ください。

コンパスルール変更投票の結果 JTA メジャー 軽部 竜也

各国のディストリクトからの投票を受け、コンパスルール変更案の結果が WTC ホームページに掲載されました（2018年1月19日）。結論から言うと、今回のクラスルールの変更は無しとなりました。

Outcome of Compass Vote : <http://www.tasar.org/news/2018/01/outcome-of-compass-vote.aspx>

【投票結果】1つのディストリクトにつき、1票を投じています

オプション1：5票

オプション2：2票

オプション3：1票

（他の2つのディストリクトは無投票）

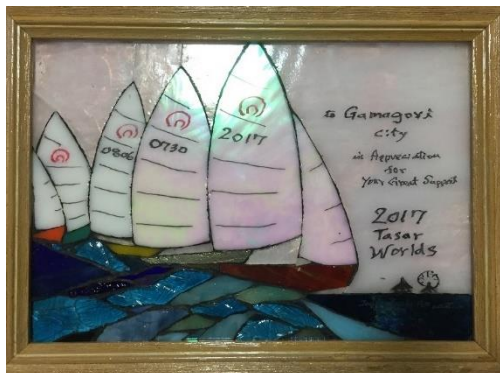
最多となったのはオプション1ですが、クラスルールの変更手続きを進めるためには、3分の2以上の賛成票を得ることが必要です。このことはクラスルール B.4 に定められています。今回のどの案も3分の2に達していないことからルール変更の要件を満たしておらず、不成立となりました。

<今後の動き>

不成立となったものの最も多くの支持を集めたオプション1をベースに、言葉遣いなどを修正したうえで再度投票にかけるように進む予定です。おそらく三択ではなく、賛成/不賛成を問う採決になるでしょう。

(2018年1月24日 JTA通信に掲載されました)

(ご報告) 蒲郡ワールド開催の報告を行いました



2017年12月に田中会長が蒲郡を訪問し、蒲郡ワールドの開催報告を行い、記念品を海陽ヨットハーバー、愛知県ヨット連盟、蒲郡市に贈呈しました。本大会への協賛・協力・後援の各機関に対しては、お礼状とともに、大会開催報告書と大会期間中の映像を収めたDVDをお送りしました。

大会最終日の表彰式・閉会式では、参加選手が所属するヨットクラブとバージの交換を行いました(写真下左)。7つのヨットクラブからのバージに対して、テザー協会からは大会名を施した地元三河木綿の風呂敷を贈りました。

この時、各クラブからお預かりしたバージを特注の大判テザーフラッグに縫い付け、大会名、ヨットクラブ名等の刺繍を施して、大会記念フラッグを制作し、海陽ヨットハーバーにお渡ししました。

また、レース運営を担当された愛知県ヨット連盟、地元での受入準備に協力いただいた蒲郡市には、記念盾を制作しました。盾には、「2017年テザー級世界選手権大会記念・海と人とのふれあい交流事業記念・参加選手一同の感謝とともに」の銘文を添えさせていただきました。



◎バージ交換ヨットクラブ(左から)

- Seattle Yacht Club, USA
- De la Mancha Yacht Club, JPN
- Clayton Bay Boat Club, AUS
- Royal Perth Yacht Club
- McCrae Yacht Club, AUS
- Jervis Bay Sailing Club, AUS
- Queen Mary Yacht Club, UK



*大会記念フラッグは、海陽ヨットハーバーの新設された競技棟に展示されています(写真右)。

◎記念フラッグ制作協力：パフォーマンス セイルクラフト ジャパン(株)、札幌ヨシダネーム

◎記念盾制作：ピープルファクトリー

Tasar Sailor of the year 2017 は江の島フリートの伊藤一石さんに決定しました。おめでとうございます。皆勤賞は、江の島フリートの伊藤さん、本吉さん、大阪北港フリートの石川さん、葉山フリートの米本さん、そして稲毛フリートの亀山さんでした。おつかれさまでした！表彰はスプリングレガッタで行われる予定です。結果一覧は、巻末をご覧ください。

テーザー級世界選手権大会 2019 のご案内

27th July - 3rd August 2019 Hayling Island Sailing Club, Great Britain

2019年のテーザー級世界選手権大会は、イギリス南部の Hayling Island Sailing Club で開催されます。

Web サイト：<http://tasarworlds2019.org/>

期間：2019年7月27日～8月3日

Web サイトでは宿泊などの案内が掲載されています。

参加を検討されている方はご確認ください！



アーリーサマーレガッタ@新潟 会場周辺の情報

稲毛フリート 軽部 竜也

今年のアーリーサマーレガッタは6月10日に新潟県聖籠（せいろう）町にて開催されます。ヨットレースで新潟に行ったことがある人はほとんどいないと思われるので、周辺情報を掲載しておきます。

レース会場

新潟県聖籠町は新潟市の東隣にある町です。新潟市の中心部からは車で20～30分というところでしょうか。網代浜（あじろはま）船だまりという漁港が会場になります。「海のにぎわい館」という施設が隣接されていて、ここが大会本部になります。

大会本部

「海のにぎわい館」 <http://www.seiro-nigiwaikan.jp/>

住所：新潟県北蒲原郡聖籠町網代浜 1612-5

シャワールームやトイレなどの基本的な設備は備わっています。

レセプション会場（仮）

まだ確定してませんが以下を予定しています。

「パラディソ」 <https://tabelog.com/niiigata/A1505/A150502/15015510/>

海水浴場に面した海の家です。レース会場からは車で約10分ほどです。

周辺の宿泊施設

最初の2つの施設が会場から比較的近いです。

***パンション プチ・カザデラ** <http://www.casadeela.com/>

以下、人から聞いた話です

- ・～2名ないし～4名宿泊可能な部屋が複数あります。
- ・個室ですのでご家族、ペア、男女個別の宿泊はできます。
- ・バス・トイレは共通です。
- ・ホテルではなく、合宿所といった施設です。
- ・網代浜までは2km、パラディソまでは2km

第 32 回レーザー級全日本選手権大会レポート

山村太郎／吉田向志組が優勝！ 稲毛で開催

10月21、22日に「2017年度レーザー級全日本選手権」が稲毛ヨットハーバーで開催され、芦屋・大阪北港・浜名湖・江の島・葉山・稲毛の各地から27艇が参加しました。（レポート・写真提供／日本レーザー協会）

2日間予定されたレーザー全日本。荒天により2日目は中止に。合計4レースをおこないませんでした。

21日は4レースを行い、22日は台風21号接近に伴う大雨と強風のため、レースがキャンセルとなりました。優勝は地元稲毛の山村太郎・吉田向志組です。

レーザークラスでは、今年7月から8月にかけて愛知県蒲郡市で世界選手権が開催されました。過去に世界選手権を日本で開催した際は世界選手権と全日本選手権を兼ねて開催していたため、ワールドイヤーに別立てで全日本選手権を開催するというのは、レーザー協会として新しい試みです。

そのためか、世界選手権で熱が高まり新艇を購入して挑んだチーム、海外セーラーと戦ったことで見つけた課題を克服すべく練習して挑んだチーム、ワールドで燃え尽きた気持ちを再び呼び起こすきっかけとして参加したチーム等、この大会に期する各チームの想いは様々だったようです。

また、オランダから日本が大好きなコンスタンティン・ウド選手が（世界選手権に引き続いて）参加し、大会を盛り上げてくれました。

初日、台風の影響で朝から雨が降っていたものの、朝からレースには適した4m/s前後の風に。しかし、陸風のため強弱や振れが細かく入り、また、降り続いた雨の影響で増水した川の流れも影響する難しいコンディションでした。

第1レースは、レース前半でトップに出た山村・吉田組が、順位を守り1位でフィニッシュ。本吉・三苫組、伊藤・本吉組が続きました。第2レースは、地元稲毛のベテラン田中・田中組が1マークを1位で回航するものの、伊藤・本吉組が粘り強い走りにより、田中・田中組を抜き1位でフィニッシュしました。



優勝、山村太郎／吉田向志組

第3レースは、10年前に同じ稲毛で行われた全日本選手権優勝の軽部・軽部組が1位を獲得。第4レース、山村・吉田組が1位で1マーク、2マークを回航するものの、長嶋・高橋組が3マークでは1位を奪い取り、そのまま順位をキープし1位でフィニッシュしました。

おこなわれた4レースは、いずれも40分から50分。しっかりハイクアウトが必要になるコンディションの中、予定していたレース数をテンポよく実施できました。

大会2日目、台風の影響により朝から強い雨が降っており、一時はレース開催を目指し準備を進めていましたが、準備中に「時折吹く突風が海上では17mを超えている」との報告があり、レース委員会は以降のレース中止を判断しました。

結果、毎レース違うチームがトップとなる難しいコンディションの中、1-4-2-3 と安定した成績を残した山村・吉田組が総合優勝を決めました。総合2位は伊藤・本吉組、総合3位とマスタークラス優勝は本吉・三苫組、グランドマスタークラス優勝は田中・田中組、スーパーグランドマスター優勝はウド・前田組となりました。

次の公式戦は、2018年3月11日に江の島ヨットハーバーで開催されるミッドウィンターレガッタです。レース公示は日本テザー協会のホームページ（<http://tasarjapan.org/>）に掲載する予定です。ワールドで新しい仲間も増えて盛り上がっているテザーに興味のある方のご連絡をお待ちしております！



2位の伊藤一石／本吉夏樹組



3位（マスタークラス優勝）、本吉譲治／三苫稔尚組

<2017年10月24日バルクヘッドマガジン掲載>

全日本を振り返って：みなさんと共有したいこと

山村 太郎

このレポートを書いている時点で、大会からしばらく経ってしまっており、レースの詳細は正直覚えていない、というのが正直なところなのです。が、今まで考えていたことが、今回優勝したことで、自分の中ではそれなりに納得できたので、その内容をみなさんと共有したいと思います。

☆風を読むということについて

稲毛の風は難しいね、とか、今日の風は難しかったね、とか、1レース目は当たったけど、2レース目は逆フレ掴んじゃって、なんて話をみなさん会話しているのをよく聞きます。では、優勝した艇は、風が次にどこからくるかがわかっていたか、それとも、強運で賭けに当たり続けていたか、いずれも「No」であるというのが、僕が思うトコロです。

では、何をやってたか。今見える風に対して、最大限の選択をするということをやっていました。ブローを見て、どちらに振れるかがわかるという人もいますが、少なくとも僕はその域には達していません。つまり、風の強弱しか見えないので、強い風が今どこにあるのか、見える中で強い風の中でタックをする。それが、僕らがやっていたことです。

正直、それだけでは、常に1番前は走れません。事実、今大会4レース中1着でフィニッシュしたのは、1レースのみでした。でも、よく振れるこの日の状況を考えると、目の前の小さいポイントを拾って、大きく崩さないこの考えは良かったのではないかと考えています。つまり、風を読むなんてことはしません。そうすると風が難しいとか簡単とかって概念すらなくなってくるというのが、稲毛で乗ってて最近感じていることです。

☆ヘルムスマンがしっかり走らせること

当たり前なのですが、しっかり走らせないと遅いし、遅いと前に出られません。上記の話にもつながりますが、風の振れや強弱に一喜一憂している暇があったら速く走らせましょう、と、思います。特に変化が多い今回のような環境の中では、変化に対してより早くあわせていくことができるかというのが大事だと思っています。

では、何で変化を感じているか。私の場合は、基本的にはテルテルです。普通ですね。普通の事をかなり真剣に、誰にも負けないという気持ちでやっています。変化に対しては、誰よりも早く反応する。それをやるためには、マークがどこにあるとか、ライバルはどこにいるかなんてことは、見ている暇がないです。なので、気になることはクルーに見てもらって情報を得るといことが、僕がやってきたことです。



山村（左）・吉田（右）組

☆準備をして挑むということ

僕にとっては当たり前で、学生の時から続けてきたことなのですが、テザーセイラーのみなさんがあまり重要視していないと感じることが2つあります。一つ目が早く出艇することです。これは、誰が考えても早く出艇したほうが、より多くの情報を得られて、レースを有利に進められる可能性が高いのに、スタートに間に合えば良いと思っている人が多い気がしています。

二つ目が潮を測ることです。今回、パーティーで、本吉夏樹さんがおっしゃっていたことでもあるのですが、川の流れの影響が特に上サイドのレグでは強く感じられ、上っても上っても苦も無く落としていけるとい状況だったということがあります。地形の特徴を掴んでコースを選択するといことができたのは、おそらく参加艇の中でも1艇しかいなかったのではないかと思います。長く稲毛でやっている私も川の影響まで意識していなかったというのが正直なところですが、ただし、僕は毎回レース前には潮を測っており、上から下への方向で、かなり強い潮があることは把握していたため、結果、本吉さんの戦略と同様に、マークの方向よりも少し上ってスピードをつけて走ることににより、上サイドでは毎回順位を上げていました。

以前から、私は大会のうち前半のレースの方が成績が良い傾向が強く、それは単純に周りがレースに対する準備が整っていないため、それが整っている我々が結果前に出られているのかなというのが、思うところですが、もったいないので、みなさんにしっかり準備して大会に挑んでほしいです。

☆まとめ

レース中に判断を誤ることも、ミスをすることもあったのですが、それでも、優勝できたのは、上記で言っているようなことをしっかりとこなしたからだと思っています。環境が変わると大事にすることの優先順位が変わってくるようなこともあるかもしれませんが、陸に近く、良く振れる海面での優先順位としては参考にしてもらえるのではないかと思います。

稲毛での走らせ方は習熟した感があるのですが、他の環境では、まだまだ手探り状態です。ぜひ、みなさんそれぞれが考えていること、優先していることを共有していただき、日本全体をレベルアップして、楽しいレースをたくさんできたらうれしいなと思います。個人的には、稲毛でしか全日本に勝っていないので、他の会場でも優勝できるように頑張りたいです。

以上

第32回テザー全日本選手権 成績表

2017年10月21-22日 稲毛ヨットハーバー

順位	セールNo.	クラス	スキッパー	クルー 1	クルー 2	フリート	race1		race2		race3		race4		race5		race6		race7		race8		合計	修正
							順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点		
1	2736		山村 太郎	吉田 向志		稲毛	1	1	4	4	2	2	3	3									10	10
2	2741		伊藤 一石	本吉 夏樹		未所属	3	3	1	1	5	5	4	4									13	13
3	2395	M	本吉 譲治	三苫 稔尚		江ノ島	2	2	6	6	3	3	6	6									17	17
4	2732		大橋 太一	村岸 恭明		江ノ島	8	8	2	2	6	6	2	2									18	18
5	2881	M	軽部 香	軽部 竜也		稲毛	7	7	3	3	1	1	9	9									20	20
6	2958		長嶋 諒	高橋 夏樹		葉山	6	6	10	10	7	7	1	1									24	24
7	2765	GM	田中 郁也	田中 紀子		稲毛	5	5	5	5	10	10	5	5									25	25
8	2		関根 恒久	宮野 鴻	神作 聡	未所属	4	4	7	7	4	4	14	14									29	29
9	2705	GM	植田 泰平	植田 典子		芦屋	10	10	8	8	9	9	11	11									38	38
10	2719	M	石川 光輝	中林 正任		大阪北港	12	12	9	9	11	11	7	7									39	39
11	2593	M	亀山 寛達	井上 敦		稲毛	14	14	11	11	13	13	12	12									50	50
12	2761	M	小松 充	宮下 知之		葉山	9	9	14	14	15	15	16	16									54	54
13	2880		池田 陽平	米山 和希		稲毛	18	18	13	13	17	17	8	8									56	56
14	2671	M	阪井 祐介	宮下 健		葉山	11	11	12	12	20	20	15	15									58	58
15	2748		米本 隆	鬼塚 一浩		葉山	16	16	15	15	18	18	13	13									62	62
16	2861		三輪 記裕	中山 弘幸		大阪北港	13	13	19	19	12	12	22	22									66	66
17	2205	SGM	ウド コンスタンティン	前田 孝子		未所属	17	17	17	17	16	16	18	18									68	68
18	2575		柳川 太佑	真下 峻徳		葉山	22	22	16	16	14	14	17	17									69	69
19	2745	M	関口 真秀	上松 慮生		江ノ島	15	15	DNC	28	8	8	19	19									70	70
20	2707	GM	石塚 恒志	河合 理香		浜名湖	UFD	28	20	20	19	19	10	10									77	77
21	2749	M	野口 優	杉田 智宏		稲毛	19	19	21	21	24	24	21	21									85	85
22	2396		山本 晴之	山本 真央	山本 玲子	葉山	23	23	18	18	21	21	24	24									86	86
23	2715		小松 利英	中井 彬人		葉山	24	24	23	23	22	22	20	20									89	89
24	2623		黒谷 豊	荒川 徹	黒谷 拓海	芦屋	20	20	22	22	25	25	23	23									90	90
25	2720	M	岡 誠	根津 秀樹		葉山	25	25	24	24	23	23	25	25									97	97
26	2730	GM	宇佐美 重則	小田倉 里美		稲毛	21	21	DNC	28	DNC	28	DNC	28									105	105
27	2669	GM	池田 俊則	秋吉 寿美子		大阪北港	DNC	28	DNC	28	DNC	28	DNC	28									112	112

中止

スタート	10:45:00	スタート	11:50:00	スタート	13:10:00	スタート	14:15:00	スタート		スタート		スタート		スタート	
トップ艇F	11:28:20	トップ艇F	12:41:18	トップ艇F	13:55:30	トップ艇F	14:52:27	トップ艇F		トップ艇F		トップ艇F		トップ艇F	
レース終了	11:35:16	レース終了	12:47:12	レース終了	14:02:02	レース終了	14:57:55	レース終了		レース終了		レース終了		レース終了	
風向	30	風向	40	風向	30	風向	30	風向		風向		風向		風向	
風速	4m/s	風速	3.5m/s	風速	4m/s	風速	4.5m/s	風速		風速		風速		風速	

レース委員長

プロテスト委員長

It was on the last day of the Gamagori Worlds when the racing was cancelled that I met Maeda san.

I was taking the mast down when she offered to help me and I told her that we were not going to sail that day. Then she offered me to sail her cruiser/racer around Gamagori bay that afternoon. And it was fun doing so because shortly after cancelling the races, wind started to come and developed into a very nice breeze. It was during this trip that I asked Maeda san if she was willing to take part in the upcoming JTA Nationals at Inage.

After serious consideration on her part, she agreed, and the plan was made to be at Inage on Moku youbi to get the boat prepared and to get a bit of practice. It was thanks to Inoue san that we could use his boat during this event.



オランダから参加したUdoさん。蒲郡で知り合った前田さんとチームを組みました。

On Moku youbi the weather did not co-operate, it was torrential rain almost all day. We managed to do a bit of work on the boat between the rain showers. In the afternoon we went to a Ofuro place where I enjoyed a nice atsui bath. It helped me getting over my jet lag as I arrived from Holland that same morning.

Kin youbi gave a bit of improvement on the weather, but we were not allowed to sail at Inage as we did not have a local certificate. The rules to qualify were made for some reason and we did not challenge the decision to keep us on shore. Instead we spent the day doing a bit of sightseeing in the area.

On Do youbi we were allowed to go out and we sailed some nice races. Our results were not what we had hoped for, but we enjoyed the sail all day.

I also experienced being last in a race for the first time ever. This was entirely my own fault as I made a bad start and also made bad decisions where to go. Despite all this Maeda san enjoyed dinghy sailing and we returned ashore in good spirits.

The evening was spent in a friendly atmosphere with all our friends and we all enjoyed good food in the restaurant on the top floor.

The championship series was cut short by the typhoon that passed Japan.

I remember the 1999 words in Mikkabi. The typhoon arrived on the lay-day, I call that perfect planning by the race committee! How did they know when they made the sailing schedule that a typhoon would call on the planned lay day? And again in 2017 it was perfect planning, the typhoon waited for the championship to finish before arriving ashore.

It was not so patient with us during the 2017 JTA Nationals and a wise decision was made to cancel the rest of the series.

That we afternoon Maeda san and I drove to Nagoya where we said goodbye to each other and I stayed in a hotel to go to Kobe the next day for a meeting with a client. That turned out to be quite difficult as train schedules were badly disrupted by the typhoon.

Will we do it again in 2018?

Perhaps yes. As we always need a charter boat the location is of importance to us. Then the dates set may not fit me or Maeda san, we both sail races in our own boat. The JTA Nationals may be held at a time the Maeda san in racing her cruiser or I am doing the TAU Nationals.
Please let us know where and when the JTA Nationals are held. If we can, we will attend.

Arigatou gozaimasu for allowing us to take part!

Tyn Udo. Holanda Tasar jin.

+++++

ミッドウィンターレガッタレポート

阪間 俊文

今年度の最終イベント、ミッドウィンターレガッタは3月10日練習会、11日にレースが江の島ヨットハーバーにて行われました。今回のミッドウィンターは昨年蒲郡で行われたワールドの後と言う事もあり、昨年よりもエントリーが少なめでしたが小春日和の中、熱い戦いが行われました。

10日の練習会には昨年同様、プロセラー本吉夏樹さんによるクリニックが行われ8艇が参加しました。風が弱く、風向も安定していなかったためコース練習というよりも個々の船に寄り添い軽風時のセールセッティングや船のバランスの指導をして頂きました。乗っていると分かりにくいアウトホールの引き具合によるジブセールとメインセール間の変化、体重移動によるトランサムから出る引き波などを重点に教わりました。



11日はレース当日の予報は風が強くなるとされていましたが、朝の時点ではスタートエリアにもたどり着けないほどの無風で少々風待ちになりました。ようやく3~4mほどの風になりスタートを試みるもアグレッシブなスタートにより4回のゼネラルリコール後に第一レースのスタートとなりました。

第1レースは新艇の2組（関口・上松組、本吉（譲）・三笠組）が圧倒的なスピードを見せつけダントツの1、2フィニッシュ。3位以下は団子状態でしたが阪間・阪間組が逃げ切り3位。

第2レースは風がさらに上がり4~5mの中スタートとなった。序盤から安定したスピードとコース取りで大橋・庄崎組、伊藤・本吉（夏）組がトップ争いの中2回目の下マーク回航でマークを見失ったのか伊藤・本吉（夏）組がまさかのマークを間違えるというアクシデントもあり2位以下は混戦状態に。1位にはトップを守り切った大橋・庄崎組が入り、その後の僅差のせめぎ合いは阪間・阪間組が制して2位でフィニッシュ。3位には本吉（譲）・三笠組、4位には軽部・軽部組が入りました。

第3レースのスタート時には風はさらに上がり7~8mの風でのスタートとなりました。フルハイクの中でのレースは、やはり技術と若さのある町山・松苗組と伊藤・本吉（夏）組の走りが目立ちました。第1レースから常にトップ争いに加わりながらも結果に結び付かなかった町山・松苗組が第3レースを勝ち取りトップフィニッシュ。2位には手堅く伊藤・本吉（夏）組、3位には軽部・軽部組が入りました。第3レース後半にはメインセールがシバーするくらいの風に上がり、レスキューボートが足りないとレース運営側が判断し、第4レースは中止となりました。ハーバーに戻ったころには最大週間風速が13mとなっており、物足りないセラーも居たかもしれませんが結果良い判断だったのではないかと思います。

2017年度 テーザー級 ミッドウインターレガッタ

レース委員長 村岸 恭明

順位	Sail No.	フリート/水域		スキッパー	クルー1	クルー2	1R		2R		3R		Total
							着順	得点	着順	得点	着順	得点	
1	2740	江ノ島	SGM	阪間 俊文	阪間 進		3	3	2	2	5	5	10
2	2960	江ノ島	M	本吉 譲治	三笥 稔尚		2	2	3	3	6	6	11
3	2881	稲毛	M	軽部 香	軽部 竜也		4	4	4	4	3	3	11
4	2(2959)	江ノ島	M	関口 真秀	上松 慮生		1	1	8	8	4	4	13
5	2615	未所属		町山 文洋	松苗 幸希		7	7	6	6	1	1	14
6	2732	江ノ島		大橋 太一	庄崎 賀絵		6	6	1	1	7	7	14
7	2741	江ノ島		伊藤 一石	本吉 夏樹		8	8	5	5	2	2	15
8	2821	江ノ島	GM	戸室 宣房	柏崎 梢		5	5	11	11	11	11	27
9	2719	大阪北港		石川 光輝	成川 健一		9	9	10	10	8	8	27
10	2593	稲毛	M	亀山 寛達	井上 敦		11	11	7	7	DNC	18	36
11	2671	葉山	M	阪井 祐介	宮下 健		16	16	14	14	9	9	39
12	2958	葉山		高橋 夏樹	長嶋 諒		13	13	9	9	DNC	18	40
13	2809	浜名湖	SGM	蜂須賀 強	小見山 三知男		14	14	16	16	10	10	40
14	2706	葉山	GM	中本 廣之	石丸 寿美子		10	10	13	13	DNC	18	41
15	2749	稲毛	M	野口 優	杉田 智宏		15	15	12	12	RET	18	45
16	2396	葉山		山本 晴之	山本 眞央		12	12	15	15	DNC	18	45
17	2469	江ノ島	M	塩 信之	堀 昌太		RET	18	RET	18	DNC	18	54

稲毛では月一回 IST (Inage Sail Training) というレースを開催し、年間優勝を争いながら、切磋琢磨しています。今年のスケジュールは下記の通りです。

第1回：3/25 (日)、第2回：4/28 (土)、第3回：5/27 (日)、第4回：6/17 (日)
 第5回：7/28 (土)、第6回：8/19 (日)、第7回：9/29 (土)、第8回：10/14 (日)
 第9回：11/18 (日)、第10回：12/1 (土)、予備： 9/2 (日)、10/28 (日)

稲毛は東京の都心から一番近いフリートです。諸事情により、ペアの数よりも艇の数の方が多いという現状もあり、他フリートの方々も持ち込みではなくとも、またお一人でも連絡いただければアレンジして乗ることができるかと思えます。ぜひお気軽に連絡ください。

フリートキャプテン 山村 太郎

葉山フリートレースは、フリート外からの参加も可能なオープンなレースです。

江の島フリートの方はもちろん、他フリートの方もお気軽に参加ください。

また、今年はスプリングレガッタに加えて全日本選手権も葉山開催です。フリートメンバー一同で盛り上げていきますので、こちらも奮ってご参加ください。

〈フリートレース日程〉

4/15 (日)	第1回 葉山フリートレース
6/24 (日)	第2回 葉山フリートレース
9/29 (土)	第3回 葉山フリートレース

フリートキャプテン 宮下 健

江の島フリートのキャプテンをやらせて頂いている村岸です。江ノ島ではワールドを目指す艇からヨットをテザーから始めた方まで さまざまな約 10 チームが活動しています。オリンピックが近づきハーバーも盛り上がっています。是非江ノ島に遊びに来てください。

下記のスケジュールで、江ノ島沖でトレーニングレースがあり、参加できる艇が練習を行っています。ご参考ください。

*トレーニングレース日程

- 4/8 (日)、4/28 (土)、4/29 (日)
- 5/3 (木)、5/13 (日)
- 6/3 (日)、6/17 (日) *6/3 は神奈川県セーリング大会
- 8/5 (日)、8/12 (日) *8/5 は藤沢市オープンヨットレース
- 10/6 (土)、11/18 (日)、12/9 (日)、2/10 (日)、3/10 (日)

フリートキャプテン 村岸 恭明

浜名湖フリートは現在ビーチスマリーナに4艇その他3艇保管していると思います。特別な決め事は無く各チームが参加するレースを選択して遠征をするか、家族で浜名湖の風を楽しんで、セーリングするか活動しています。

18年度は、9月15日(土)16日(日)にオータムレガッタが浜名湖でも人気の高いビーチスマリーナで開催されます。9月は南風5m/sの気持ちの良い風が吹きますので、多くのテザーが集合するようお待ちしております。

フリートキャプテン 蜂須賀 強

大阪北港テザーフリートは大阪北港マリーナをベースに活動しています。レーザ、シーホッパー、シカウなどのフリートと共に週末に集まっています。メンバーは、初心者からベテランまで幅広く、和気あいあいとセーリングを楽しんでいます。

しかし、第2日曜日に開催する北港ディンギークラブ主催のフリートレースは、楽しさの中にも少しでも上位に喰い込もうと真剣勝負で競い合います。毎回、30~50艇の参加があります(8月の市長杯はさらにその倍)。

ディンギーを始めたい方、テザーに乗ってみたい方、レースのドキドキをもう一度味わいたい方、気軽に声をかけてくださいね。

【2018フリートスケジュール】

04/15(日)クラブレース	05/13(日)クラブレース	06/10(日)クラブレース
07/15(日)大阪市長杯	08/12(日)クラブレース	09/09(日)クラブレース
10/14(日)クラブレース	11/11(日)クラブレース	
12/02(日)オールドソルト駅伝レース、納会		

フリートキャプテン 三輪 記裕

芦屋フリートは兵庫県立海洋体育館(芦屋マリンセンター)をベースに活動しています。

フリートレースや練習会をはじめ、西日本選手権の開催、各種レースへの参加などを通して技術の向上を目指しています。また、アフターセーリングの集まりや、忘年会等を通して親睦を深め、セーリング談義にも花を咲かせています。

芦屋フリートでは、ともにセーリングできる仲間を常に募集しています。興味のある方はぜひご連絡下さい。保有艇数は15艇です。

今年度は下記日程でフリート練習会を実施します。

4月15日(日)、5月6日(日)、6月3日(日)、7月1日(日)

8月12日(日)、9月2日(日)、10月14日(日)、11月4日(日)

フリートキャプテン 植田 泰平

△この冬は、海から離れ、あったかい部屋で平昌オリンピック・パラリンピックにわくわくしていました。ちょっと一息のつもりが、すっかり冬ごもり。△今回のレターでは、ワールド準備に携わったみなさんや、参加された方々の声をお届けできれば…、と思っていたのですが…。また、あらためての機会を考えますね。△2018年のレガッタスケジュール、カレンダーに書き込みましょう。今年もあっちこちの海・湖でテザーを見てもらえますね。6月の新潟遠征、おもしろそうだなあ。秋は久々のビーチスマリーナか…。楽しいレポート、よろしく願いします。△わたしの目標は、テザーをオホーツク海に浮かべること。みなさま、遠征はくれぐれも安全運転で!(のり)

日本テナー協会 2017年度年次総会議事録

日時：2017年10月21日（土）17：30～

場所：千葉市磯部公民館

1. 開会宣言（事務局）
2. 会員数・出席者および委任状確認・総会成立布告（事務局）
当日会員数：96名 → 定足数：32名（会員数×1/3）
出席者数：31名
委任状数：10名
→出席者・委任状合計：41名 よって総会成立
3. 議長（田中郁也会長）により、議事進行
冒頭に、参加者全員で故山下栄輝さん（葉山フリートフリートキャプテン）への黙祷。
4. 総会議案確認
報告事項
 1. 活動報告
 2. 次年度活動予定
 3. 会計報告（前年度決算報告）
 4. 蒲郡ワールド開催実施報告（WTC報告）
 5. ワールドマスターズマスターズ2021関西について
5. 報告事項
 1. 活動報告
イベント担当（米本）：本年度活動報告
メジャラー（軽部）：本年度活動報告
ルール普及担当（軽部）：本年度活動報告
広報担当（亀山）：本年度活動報告
強化担当（村岸）：活動報告・活動予定
普及担当（亀山）：活動報告・活動予定
 2. 次年度報告予定
イベント担当（米本）：次年度活動予定報告
（補足）年に一度は新しい開催地を検討したい。
（会員からの質問・意見・要望）
葉山の全日本はオリンピックの関係で開催可能かどうか。
→（米本）今のところ影響はなさそうである。
ミッドサマーレガッタをTOYの対象にいれていない理由は？
→（米本）関西から遠い、またリクリエーション色の強いレガッタなのでTOYの対象に入れていない。
4月28～29日はインカレと重なるので21～22日のほうがよいのではないか。
 3. 会計報告（前年度決算・ワールド決算報告）
会計担当（池田）：概ね予算通り。
前回和歌山ワールドの1.5倍くらいの予算規模で開催できた。助成金の効果もあってエントリーフィーを和歌山のときよりも減額することができた。

4. 蒲郡ワールド開催実施報告

(田中) : 開催実施報告、WTC報告。

(亀山) 寺尾さんに陸上本部長を引き受けていただいた報告

5. ワールドマスターズゲーム2021関西について。

(田中) : 実施概要の説明。チャーター艇確保の準備が必要になる。植田さん、米本さんにイベントの担当してもらう。

6. 審議事項

1. 次年度予算案(池田)

ワールド効果で会員数が増えて年会費収入が増えたが、来年度の会費収入も据え置いた。

(田中) ネットバンキング手数料に関する補足。

→(池田) 作業の効率化のため、ワールド以降も継続使用。

⇒会員31名+委任状10名で承認

2. 次期会長の選出

(亀山) 田中現会長を推薦

(田中) 抱負を述べる。

⇒会員30名+委任状10名で承認

3. コンパスルール変更の意見交換

(軽部) コンパスルール変更案に関する説明。

(田中) 臨時総会の開催と投票の説明。

(上松) 補足: コンパスルール変更の理由。

1. 新しい機器が出た場合に現ルールだと表現が曖昧で判断しにくい。

2. Tactick が買収されて入手困難になってきているのでルール改正が必要。

3. GPS ベースのコンパスの許容。

(会員からの質問・意見・要望)

案2の場合 tactick は含まれるのか?

→(上松) 含まれる。

新しい製品が出た場合HP上で公開されるのか?

→(上松) 随時発表される。

7. その他、協会活動全般についてのご要望

TOY対象外のレガッタに関して、全体の対象範囲を見直したほうが良いのではないか?

海外遠征参加者を増やすために、次期ワールドに向けてコンテナ代の積み立てを行ってはどうか?

イギリスワールドもメーリングリストの呼びかけ。

(田中) TOY対象のレガッタ、コンテナ代の積み立てに関して、検討していく。

(米本) ミッドウィンターレガッタに関してのアンケート行う予定。

8. 閉会挨拶

以上

2017年テザー級世界選手権大会（概要報告）

2017年10月21日

日本テザー協会定期総会

1. 大会概要

大会名称：2017 Tasar World Championship（2017年テザー級世界選手権大会）

開催場所：豊田自動織機 海陽ヨットハーバー（愛知県蒲郡市）

大会期間：2017年7月30日（日）～8月6日（日）

主催：（公財）日本セーリング連盟（JSAF）

運営：日本テザー協会（JTA）

レース運営：愛知県ヨット連盟（AYF）

2. 大会支援

協賛：日の丸セーラーズ協賛各社、パフォーマンスセイルクラフトジャパン株式会社、株式会社トーヨーアサノ、トヨタ自動車株式会社、東洋工業株式会社、株式会社ニデック、株式会社伊藤園、株式会社ジブ、株式会社大月真珠、株式会社フォーチュン

後援：愛知県、愛知県教育委員会、蒲郡市、蒲郡市教育委員会、蒲郡商工会議所、愛知工科大学

協力：豊田自動織機海陽ヨットハーバー、ラグナマリーナ、蒲郡国際交流協会、蒲郡市観光協会、三谷温泉旅館振興協同組合、クルーズ・イン、小田自転車モーター商会、株式会社イチオリ、バルクヘッドマガジン、株式会社レイラインメディア、エディットワイズ、株式会社ライブコミュニケーションズ

宿泊協賛：松風園、ホテル明山荘、ひがきホテル、平野屋、ホテル三河海陽閣、蒲郡オレンジペンション、蒲郡クラシックホテル、HOTEL A Z 愛知蒲郡、蒲郡ホテル

3. 大会運営役員及び体制

レースオフィサー：岡田 彰（IRO、日本）

インターナショナルジュリー：Noel Allen（IJ、豪）、Ross Chisholm（NJ、豪）、Tee Suan Tan（IJ、シンガポール）、榛葉克也（IJ、日本）、古川裕之（NJ、日本）

テクニカル委員会：東島和幸（IM、日本）

陸上本部長：寺尾義裕（DYC、日本）（敬称略）

海上：レース運営6隻、17名、ジャッジ2隻、5名

メディア2隻、5名（ドライバー2名含む）

観覧艇3隻、約40名キャパ（8/2は4隻、+55名キャパ）

陸上：大会本部9名

その他、受付（大会、ソーシャル）、計測、グッズ販売のボランティア・スタッフ、
スポーツトレーナーが参加

4. レース実施状況

8月1日 第1レース(235°,10knot)、第2レース(240°,16knot)、第3レース(245°,16knot)

8月2日 第4レース(140°,12knot)、第5レース(150°,16knot)、第6レース(120°,9knot)

8月3日 第7レース(120°,10knot)、第8レース(150°,20knot)、第9レース(140°,20knot)

8月5日 第10レース(150°,10knot)、第11レース(155°,7knot)

8月6日 第12レース：キャンセル

5. レース結果

◇総合

優勝 Sail No. 2597 Jonathan Mckee, Libby Johnson Mckee (USA, Seattle YC)

2位 Sail No. 2858 Chris Dance, Jeremy Elmslie (AUS, MSC)

3位 Sail No. 2848 Robert Douglass, Nicole Douglass (AUS, JBSC)

4位 Sail No. 2898 Rick Longbottom, Darryl Bentley (AUS, RANSA CYC)

5位 Sail No. 2809 Hiroshi Takahashi, Hiroyuki Sugiura (JPN, Hamana-ko)

6位 Sail No. 2857 Craig Mcphee, Gillian Berry (AUS, Clayton Bay Boat Club)

◇年齢別クラス、特別賞

マスタークラス優勝（合計年齢80～99歳）

Robert Douglass, Nicole Douglass (AUS, JBSC)

グランドマスタークラス優勝（合計年齢100歳～119歳）

Jonathan Mckee, Libby Johnson Mckee (USA, Seattle YC)

スーパーグランドマスタークラス優勝（合計年齢120歳以上）

Kym Widdows, Melissa Crawford (AUS, RPPYC)

ファーストレディ賞 Libby Johnson Mckee (USA, Seattle YC)

ファーストレディ・ヘルム賞 Heather Macfarlane (AUS)

ジュニアヘルム賞 Eri Murata (JPN, Miya YC, Gamagori)

6. ソーシャルプログラム

7月31日（月）18:30～ 開会式・レセプション、於：レストラン casa

準備・進行：葉山フリート

8月3日（木）19:00～ The Enkai、於：ホテル明山荘

準備・進行：大阪北港フリート

8月6日（日）19:00～ 閉会式・表彰式、於：蒲郡クラシックホテル

受付：江の島フリート

8月1日（火）、8月2日（水）、8月5日（土） デイリー表彰、於：海陽ヨットハーバー、

準備・進行：芦屋フリート

7. 交流事業（海と人とのふれあい交流事業@蒲郡）

日本テザー協会、日本セーリング連盟、蒲郡市、蒲郡市教育委員会共同事業

◇テザー級ヨット世界選手権大会観戦&交流会

8月2日(水) 蒲郡市の親子51名をご招待してレース観戦、交流イベントを実施
観戦ガイドブック、地元料理等の提供（がまごりうどん、スイカ、みかんジュース等）、
地元工芸品の賞品提供など

◇エクスカージョン“三河湾と人との関わりを知る”

8月4日(金) 選手・家族40名が参加

三河湾の恵みに触れるコース：蔵王山展望台、魚市場せり見学、メロン狩り

三河 de のんびりコース：抹茶ミュージアム見学、竹島周辺散策

◇セーリングの街・蒲郡と三河湾の魅力発信活動

大会の動画、写真撮影、レポート発信、大会会場及び JR 駅（ナビテラス）でのパブリックビューイング、会場臨時 Wifi 整備など

8. 広報活動

メディアチーム：西 朝子（レポート、プレス対応）、平井淳一（写真撮影）、
中嶋一成（動画撮影）（敬称略）

ポスター等印刷物、公式 HP 運営、プレスリリース、選手向け情報発信など

NHK、ケーブル TV、FM 番組、新聞各紙、あいスポ（県スポーツ誌）、
海外セーリング雑誌

9. 大会運営資金

エントリー費、ワールド準備金、協会費繰越金

スポーツ振興基金、日本財団海と日本プロジェクト、蒲郡市

協賛金（日の丸セーラーズ協賛各社、パフォーマンスセイルクラフトジャパン株式会社、
株式会社トーヨーアサノ、東洋工業株式会社、株式会社ニデック）

10. 蒲郡ワールド準備委員会

事務局 亀山寛達、関口真秀

広報 石丸寿美子、金子文雄、池田陽平

会計 池田陽平

海外対応 井上敦、宮下久美

計測 軽部竜也

チャーターボート 関口真秀、平田貴之、三輪記裕

協賛 野口優、櫻井智美、石原裕二

グッズ 野口優、亀山寛達

レースプランニング 山村太郎、軽部竜也、池田陽平

宿泊 平田貴之、軽部香、田中郁也

コンテナ受入 宮下知之、宮下久美、石塚恒志、田中郁也

ソーシャルプログラム、交流事業、賞品 田中紀子、河野恭子

会場整備 平田貴之、植田泰平、田中郁也 (敬称略)

※テザー協会理事会を適宜開催し、ToDo のリストアップ、進捗確認を行った。